

## 「子供たちと難言学級」

元 難聴・言語障害通級指導学級担任 池田幸男 先生

東京都では、現在、難聴と言語障害を合わせると、鳥しょも含め、小学校八十校、中学校十三校に通級指導学級が設置されています。この七年間で、通級する子供たちは、約千人増加、四千人を超えました。

この難聴・言語障害通級指導学級（難言学級）は、通常の学級とは異なるシステムや機能をもっています。なぜなのでしょう。

### 1 難言学級の特徴

#### ◇通級（巡回を含む）制です

子供たちは、普段はそれぞれ地域の通常の学級に在籍し、学習や生活を行います。そして、必要に応じて、校内や校外の難言学級に通います。できる限り、その子供の学校生活の場や集団を大切にしたいというシステムです。

#### ◇個別指導や小グループです

学習の形態は、子供によっても異なりますが、個別指導や小グループ指導が基本的な形です。子供の心身の状態、認知の特性、学習の進み具合等に合わせる為に、これらの形態の特性を活用します。

#### ◇特別な施設や機器を使います

子供たちが安心して自己を表したり、難聴や言語障害に応じた専門的な学習を行ったりする為、音響や照明が配慮された学習室や検査室、プレイルーム、面談室等の施設があります。オーディオメーター等の機器、発達検査セット、学習支援の機器や用具、視聴覚システムも整備されています。

◇いわゆる教科書はありません  
学習は、自立活動を主として行い

ます。自立活動については、「自立を目指し、障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う」とされています。自立活動は、個々の子供の障害や発達の状況に合わせて行われます。そのため、いわゆる学年ごとの教科書に相当する物は無く、一人一人に合わせた教材・教具や方法をオーダーメイドで用意します（必要に応じて学校の教科書を使うこともあります）。

#### ◇面談や学級訪問を行います

子供たちの発達の支援においては、日々生活し学習している家庭や在籍学級（及び関係諸機関）との協働が欠かせません。保護者の皆さんとの個別の面談、保護者会、在籍学級への訪問や情報保障、担任の先生との打ち合わせ等が必要に合わせて組んで行きます。

#### ◇「学級」の制度を大切にします

在籍をもたない通級指導学級で、原則、複数の担当者であるというシステムは、東京都が始めた制度であり、安定的な学級運営や複数の目によるきめ細かな指導や専門性を支える大きな基盤になっています。教育

現場では、教育実践や研修を積み重ねてきています。

### 2 子供たちと難言学級

子供たちは、このような難言学級にどのような思いで通級してくるのでしょうか。初回時は、緊張した面持ちでドアを開けるのかもしれない。しかし、次第に、難言学級が、「落ち着き安心できる場」「楽しく元気が出る場」として心に位置づけられるに従い、自らがもっている力を発揮し、色々な事柄を発見・解決していきます。

ことばやきこえは、人と人、人と社会の関係の中で使われ、身に付き、発達していく要素が大きいのではないのでしょうか。難言学級は、通級している子供たち一人一人が、「失敗や間違いを恐れずにチャレンジしていける場」でもあります。それは、様々な関係の中に子供たちが勇気をもって一步を踏み出すことに繋がります。



### 中学校 高等学校の先生方へ 吃音がある生徒は、個人に合った適切な理解や配慮を求めています

吃音とは・・・言葉が滑らかに出てこないこと

主症状

- 連発 (言葉の一部を繰り返す)
- 伸発 (言葉の一部を引き伸ばす)
- 難発 (言葉が出るのに時間がかる)

※随伴症状 (話そうとして呼吸が乱れる、顔や体力が入る、手足を動かすなどの症状) を伴うことがある

思春期の吃音と不安 その特徴

周りに気付かれにくくなる

難発の症状が増え、言葉が出るまでに時間がかかって、話すことを恐れることがあります。吃音になりやすい言葉を上手く言い換えて、症状が目立たないように工夫することがあります。吃音を隠すことが最優先になり、言いたいことを言わないことがあります。

症状の軽重と悩みの深さが、必ずしも一致しない

吃音の症状が目立っていても、気にせずよく話す生徒がいる一方で、症状が軽度で周囲に「気にならない」と言われても、本人は吃音のことを深く悩んでいる場合があります。

「中学・高校の時が一番つらかった」と、成人になってから振り返る人が多い

友達との会話に入れないなど困難になる生徒もあり、社会不安障害などにつながる場合もあります。

吃音の基礎知識

吃音のある人は、およそ100人に1人いる

◆発症の原因は、特定されていない 本人の性格や保護者の育児方法が原因ではありません。

◆人により、言葉の出にくさが違う 音読で出にくい、会話で出にくい、決まった言葉で出にくいなど様々です。

◆同じ人でも、吃音の状態に波がある 学期や行事、相手など様々な条件により変わります。

◆治療法は、まだ確立されていない 有効な方法がいくつか提案され、実践されているところです。

◆話すことの多い職業に就く人も、たくさんいる アナウンサーや弁護士、教師などで活躍しています。

吃音は、周囲が「知るこゝ」から、支援が始まります。吃音があることを否定せず、自信をもって、自分らしく学校生活を送れるよう、周囲が「理解すること」が大切です。

東京都立学校難言・言語障害教育研究協議会 平成30年3月

### 吃音があるとこのような心配があります

1 困ったときは... 普段はそととしておいてほしいけど、困ったときは相談してほしいな。担任以外の先生にも、吃音があることを知っておいてほしいな。吃音があるからといって、特別扱いはされたくない。

2 新しい環境で... 自己紹介のとき、緊張してつまつたらどうしよう...。笑われたりからかわれたりしたら嫌だな...。特に、新しい友達に私の吃音を知らないうちに...。挨拶や返事も、すぐに言えないと気まずくなるのよね...

3 音読や発表は... つつあって話すのは平気だけど、発表や音読のトップバッターは嫌だな...。本当は発表したいけど、不安で挙手できないんだよね...。言いたいことを先回りして言われてしまうのよね...

4 成績への影響は... 黙っていることで、分かっていないと判断されちゃうのかな...。つつがえすに読む活動を評価する活動はあてはまらないのよね...

5 先生方は... 吃音は知っているけど、具体的にどう対応したらいいんだろう？ 思春期の生徒に対して、特に注意すべき点はなんだろう？

### 吃音があってもこのような手立てがあります

1 困ったときは... いつでも相談できる関係づくりから始める。

~このような方法があります~

- ・年度当初に、担任から、吃音について保護者と話し合う機会をもつ。
- ・保護者や生徒と吃音の話をするときは、他の保護者や生徒がいる場合は避け、個別に話せる場を設定する。
- ・「吃音話し合いシート」を活用し、困りやすい場面や希望する支援について、具体的に確認する。
- ・具体的に確認したことは、同学年や部活動顧問の先生とも共有し、校内で同じ対応ができるようにする。

2 新しい環境で... 吃音をできるだけ気にせず、安心して生活できるような環境づくりを心がける。

~このような方法があります~

- ・生徒と相談した上で、希望がない限りは、他の生徒と同様に接する。
- ・苦手なことがあってもお互いを認め合える関係をつくり、いじめのない学校づくりをする。
- ・挨拶、返事、部活動でのかけ声などで、タイミングよく言葉を発することができない時には、過度な指導をしない(過度な指導の例「どうして言わないの?」「みんなが待っているから、早く言いなさい!」)。
- ・心配や不安をゼロにするには難しいが、ありのままの自分でよいと思えるよう、生徒の心を育む。

3 音読や発表は... 日常の学習活動で、失敗経験が積み重ならないように、配慮する。

~このような方法があります~

- ・「落ち着いて」「ゆっくり」などの声かけをするのではなく、先生が「ゆったり」と生徒の話を聞く。
- ・生徒の話は、できるだけ最後まで聞くようにする。やむを得ず、生徒の話を先生が途中で言い換えたときは、その内容について、本人の意思を確認する機会をもつ。
- ・生徒との事前の話し合いに加え、発表の単元に入る前などに、指名や発表の際の配慮事項を確認する。
- ・生徒が症状の改善を希望している場合は、先生の指導のみで改めようと思わず、専門機関などにつなげる。

4 成績への影響は... 吃音にかかわらず、生徒の能力は適正に評価されることを伝える。

~このような方法があります~

- ・発音の数だけでなく、ワークシートの記述など、理解の度合いや表現力が適正に評価できる方法を設定する。
- ・スピーチやグループ討論などは、話し方ではなく、内容や態度を評価する。
- ・受験や就職試験、資格試験では、吃音について申請することで配慮を受けられる場合があることを、生徒や保護者に伝え、申請について話し合う。
- 例:「英用英語技能検定」で受けられる配慮(財団法人日本英語検定協会ホームページより引用)
- 「話がつまる、大きな声でないなどの状況を面接委員に伝え、注意して聞くよう配慮します」

5 先生方は... 様々な実践をしています。

~このような工夫があります 都内公立中学校へのアンケートから一部抜粋~

- ・緊張感が高まらないよう、優しい問いかけ、リラックスできるような雰囲気づくりをした。
- ・教員がゆっくり丁寧に話し、生徒を焦らせないようにした。
- ・発表などの際に時間をゆめにし、話を途中でさえぎることなく、最後まで聞くようにした。
- ・発問への答え方は、全ての生徒に対して、発言だけでなくノートに書いて示す方法も設定した。
- ・授業中、突然の指名はできるだけ避けるようにした。本人が希望していないときに指名する場合は、短く答えやすいものにした。

### 吃音話し合いシート

①生徒や保護者との話し合いのときにコピーをして記入する。  
②記入後にコピーし、学校、保護者でそれぞれ保管する。  
③個別指導計画書作成の資料として活用する。

◆吃音の症状について

どのような症状がありますか?	連発・伸発・難発・その他(随伴症状)
どのような場面で吃音がやすいですか?	
周りがどう対応すると家ですか?	

◆話す場面で不安や困っていることはありますか?

日	授業中に自分から手を挙げて、発表をする	
直	順番に発表をする	
二	答えや意見をプリントにまとめてから発表する	
	グループに分かれて、自分の意見を発表する	
	突然、指名されて発表する	
	その他、不安や困っていること	
音	読書会に入る時に挨拶をする	
読	職員室に入るときに挨拶をする	
書	ずれちがつたときに挨拶をする	
会	その他、不安や困っていること	
話	友達と話す	
	先生に質問する・話しかける	
	不意に話しかけられる	
	その他、不安や困っていること	

◆友達関係について

困っていること、心配なことはありますか?  
(質問される・指摘される・からかわれる・真似される)

自分ではどう対処していますか?  
先生にして欲しいこと・して欲しくないことはありますか?

◆周囲への話し方(吃音)の伝え方について

クラスや部活動の友達に話し方(吃音)のことを伝えますか?	伝える	伝えない
だれが伝えますか?	自分・先生・その他	
だれに伝えますか?	クラスのみんな・学年のみんな・仲の良い子・部活が一緒の人	
他の先生に伝えますか?	はい・いいえ	
どんな場面で伝えますか?	「はい」...伝える先生( )	
どんな内容を伝えますか?	自分があるとき・いないとき	

\*担任や部活動の顧問の先生以外にも、相談できる先生がいます。

難言相談 ( ) 先生 特別支援教育コーディネーター ( ) 先生  
スクールカウンセラー ( ) 先生

\*各市区町村の教育委員会、小学校のこぼれの教室、きこえの教室にも相談できます。

### 吃音〇×クイズ 担任の先生からよくいただく質問を中心に、〇×クイズをつくりました。

- Q1 吃音の症状で、一番苦しいのは、連発(繰り返し)である。..... X
- 吃音の症状は、連発(繰り返し)→伸発(引き伸ばし)→難発(つまり)の順に重くなります。
- Q2 吃音がたくさん出ている児童は、とても困っている。..... X
- 吃音がたくさん出て、困っている児童もいますが、全く気にしていない児童もいます。吃症状は少なくとも、いつ吃音ができるか不安(予期不安)で、発言をさけてしまう児童もいます。どのくらい困っているかは、症状だけでは判断できないことが多いです。
- Q3 小学生になると吃音がなおることは、ほとんどない。..... O
- 自然になおっていく場合には、小学校入学前に吃音がみられなくなる場合が多いです。小学生以上になると「しばらくつきあうもの」として対応を考えていくことが必要です。
- Q4 吃音のある児童は、学校でも家庭でも同じように吃音が出る。..... X
- 吃音といっても、つねにこぼれがつかえるわけではありません。場所や状況によっても吃症状の出やすさは異なります。
- Q5 一緒に声を合わせて読んだり、歌を歌ったりするときは、吃音が出にくい。... O
- 吃音がかなり重い人でも、他の人と一緒に声を合わせたり、歌を歌ったりするときは、吃音が出ることが少ないようです。他にも、ひとりごとを言う、ぬいぐるみや動物、小さな子供に話しかけるときのなどは、吃音が出にくいといわれています。

参考文献 「吃音のことがよくわかる本」監修:菊池良和(講談社)・「学齢期吃音の指導・支援 改訂第2版」著:小林 宏明(学苑社)

ことばの教室では... ☆吃音を気にせずたくさん話をして、自分の思いを相手に伝えられるように...  
☆自分の吃音と向き合えるように...  
一人一人のニーズに合わせて、指導をしています。

### 〈吃音リーフレットについて〉

都難言協では、中学校・高等学校の先生方に向けた、吃音を正しく理解するためのリーフレットを作成しました。吃音がある児童・生徒が在籍している学校の先生方にご活用いただくと幸いです。この吃音リーフレットは都難言協のホームページ「広報」からダウンロードが可能です。  
<https://www.tonangen.com/koho>  
また、吃音について相談したいことがありましたら、各市区町村に設置しております「ことばの教室」にお問い合わせください。

### ♪課題別研究会の紹介♪

「難言の基礎知識と授業作りについて」

児童の見立て、構音障害、吃音、言語発達、読み書き、心理検査と、各回テーマを変えてVTRでの授業観察、ミニ協議会、基礎知識の学習、検査・教材紹介を行ってきました。参加者は、難言経験1~5年の方を中心にアドバイザーを加えて約20名です。

参加者の熱意に支えられ、今年度の活動を無事終了されそうです。ニーズがあれば来年度も実施します。  
(杉並区立高井戸第四小学校 井出 好太郎)

「読み書きについて」

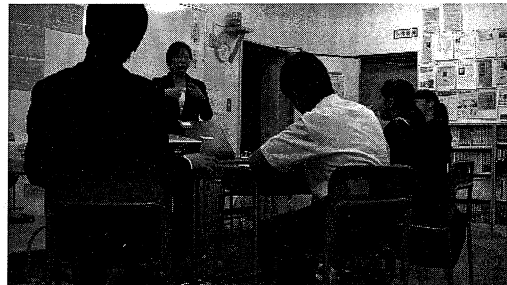
読み書きに困難さをもち言語理解や表出に課題が無い場合、保護者や担任に気づかれずに学年を経てしまい、支援が遅れてしまうケースがあります。このような子供たちは、全く読み書きができないわけではないので、見立てに悩むことも多いと思います。今年度、私たちは課題別研究会で、「音読の流暢性と音読と書字の正確性で評価する方法」を学びました。講師の先生から障害の機序を丁寧に教えていただいで理解が深まり、見立ての精度が高まりました。  
(練馬区立南町小学校 堀越 恵子)

# ◇ 学級紹介 ◇

## 江戸川区立鹿本中学校 難聴通級指導学級

本学級は昭和48年に開級し、今年度は校内外から計11名の生徒が通級しています。校内通級生の一日は、難聴教室に寄って学級の連絡事項を確認することから始まります。わずかな時間のコミュニケーションですが、今日も通級の仲間や通級担任がいるという安心感をもって在籍学級へ向かいます。難聴学級で個別や少人数の形態で指導を受ける時間もあれば、パソコン要約筆記による情報保障を付けた授業や行事もあり、定期考査等での特別措置も受けています。校外通級生は、放課後に通級しています。普段は在籍校で一人の校外生も、きこえについての心配からたわいのない話まで、いろいろな会話をして安心できる場となっています。学級行事としては、卒業生講演会、お別れ会、委託検査等があります。

「きこえる社会」で生きる難聴の生徒たちが、自信をもって人生を歩めるようそっと背中を押していく、そんな学級であり続けたいと思います。  
(文責 北岡 玲奈)



### ◆ブロック研究発表会のお知らせ◆

#### 多摩南ブロック

##### ・テーマ

「言語発達に課題のある

児童の見立て」

##### ・講師 東京学芸大学

林 安紀子 教授

##### ・日時 令和二年一月二十八日(火)

午後二時から四時半

##### ・会場 八王子市立いずみの森

小中学校 体育館

#### 城東ブロック

##### ・テーマ

「個のニーズに応じた支援のあり方

難聴児の言語力を育てる指導」

吃音のある児童の思いに

寄り添って」

##### ・日時 令和二年二月二十五日(火)

午後二時から四時半

##### ・会場 足立区立千寿本町小学校

体育館

※参加される先生方へ

各会場に名札・上履き・靴を入

れる袋をお持ちください。

### 事務局より

事務局では、今年度も他団体との連携を推進しつつ、役員研究会を通して、都難言協の活動が充実するよう活動しています。

都難言協は各区市の分担金や東京都教職員センターの研究奨励費と、会員の方々の協力で支えられています。より質の高い研究を進めることで、「通級指導学級」制度の維持・発展を目指していきます。来年度も、ご協力よろしくお願いたします。

#### ―編集後記―

ご多用の折、原稿をお寄せいただいた皆様に厚くお礼申し上げます。本会報を日々の教育活動に役立てていただければと思います。



#### 都難言協会報

代表者 (会 長) 藤島 寿晴  
責任者 (広報委員長) 大桃 昌博  
発行日 令和元年十二月二日  
発行数 五七三〇部  
印刷 有限会社 正陽印刷